

今月のフレンズ



▲ 天空のアグリパークの農地の土壌改良を行なっています。ここでも重機の操作に長けている建設業の強みが活かされています。



▲ 株式会社山田組の運営する「天空のアグリパーク」では、梅の摘み取りやブルーベリー狩りなど、一般の方々にも楽しんでいただける農業体験イベントを定期的に開催しています。



▲ 東谷山・天空のアグリパーク 名古屋市内で企業として初めて農地の利用権設定(農地の賃借契約)を申請し、平成24年10月にブルーベリーや梅を中心とした農園を開園しました。



▲ 社会貢献活動と本業との関係は、樹木に例えることができ、本業である木の「幹」がしっかりしているから、新しい「芽」として様々な社会貢献活動ができると、山田社長。



株式会社山田組
ヤマダ アツシ
代表取締役 山田 厚志さん

建設業から農業、 そして社会貢献活動へ

建設業としての強みを活かして、農業分野に参入し、名古屋市内で企業として初めて農地の賃借契約を結び、都市農業に取り組む山田組。環境活動、防災・減災活動など社会貢献活動へ活動の輪を広げる同社の山田社長に、本業に良い循環をもたらす活動について、お話を伺いました。

建設業から農業への参入

建設業と農業はともに人手や機械力を要する作業であるという共通点があります。仕事量については、農業は春から秋にかけて多く、秋から冬にかけて少ない。逆に建設業は春から秋にかけて公共事業などは比較的少なく、秋から冬にかけての仕事が増えます。そのため1年の仕事のサイクルのなかで、農業と建設業では絶妙な「ブレ」があり、参入するメリットは充分にあると考えました。

本業に良い循環をもたらす活動

建設会社は、安全を確保するため、通常、市民の方の目に触れないように仕事をする事が多く、またPRも上手くないため、あまりイメージが良くありません。

農業分野への参入は、農業体験イベントや「なごや環境大学」の講座を受け持つなど、行政の市民サービスを手伝えることを強く意識して決断しました。結果として行政や関係機関だけでなく市民から感謝され、社会に開いた建設会社として評価していただきました。こうした活動で大切なのは、経営者

が先頭に立って行かない、世間に分かりやすく発信することです。また自社の利益のためだけでなく、関係者のために行なう活動により、本業のオフアールにつながるという好循環が生まれています。さらに建設業では人材の確保が重要な課題ですが、農業分野で求人をする希望者が多く集まるということもありました。

社会貢献活動を継続するために

当社では、農業分野だけでなく、地域防災、環境活動など社会貢献活動を行なっていますが、それは本業のしっかりした事業基盤があるからできるものです。とはいえ本業の収益を損なう活動は長続きしません。たとえば農園活動で得た収入をさらなる社会貢献活動の原資に充てるようにしていますし、費用面だけではなく、なごや環境大学の講座では、常連の参加者が講師や企画者を務める仕組みにするなど、長く活動が続けられるよう工夫をしています。

これからも様々な活動を通じて、地域から感謝されることも、自社の持続性を確かなものにするよう取り組んでまいります。



▲ 名古屋商工会議所が会員企業の環境活動をサポートするために運営する「名商ecoクラブ」にも入会して、環境活動や社会貢献活動に積極的に取り組む企業の手法など、活動の参考にしていただく。



▲ 建設業協会や大学・NPO団体などとも連携して農作業や防災・減災についての体験型の講座を受け持ち、啓発活動も積極的に行っています。

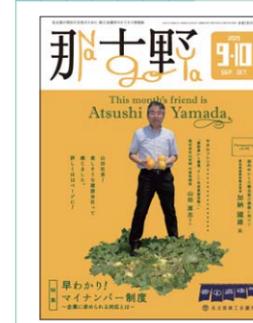


▲ 株式会社山田組は2014年4月から(公財)名古屋市民みどりの協会とともに「農業文化園・戸田川緑地」の指定管理者として、運営管理や企画等を行っています。



▲ 「畑違いの建設業者が生産する農作物」をアピールする「畑ちがいでいい」というブランディングにより、市内の大型スーパーで販売しています。採算が合うまでにはいかないそうですが、都市農業部門の収入を同社の社会貢献活動の原資に充てています。

今月の表紙説明



山田社長が手に持っているのは、あいちの伝統野菜に選定されている「金俵まくわうり」。果肉は白色で甘く、香りが良いのが特徴で、山田組が(公財)名古屋市民みどりの協会と共に管理する「農業文化園・戸田川緑地」の農園でとれたものです。

Company Data【会社概要】

創業 昭和29年
所在地 中川区戸田5-1213
TEL 052-301-6121
URL <http://www.yamadagumi.jp/>
事業内容 土木工事、環境・景観整備工事、上下水道工事、上下水道・管更生工事、その他管工事